

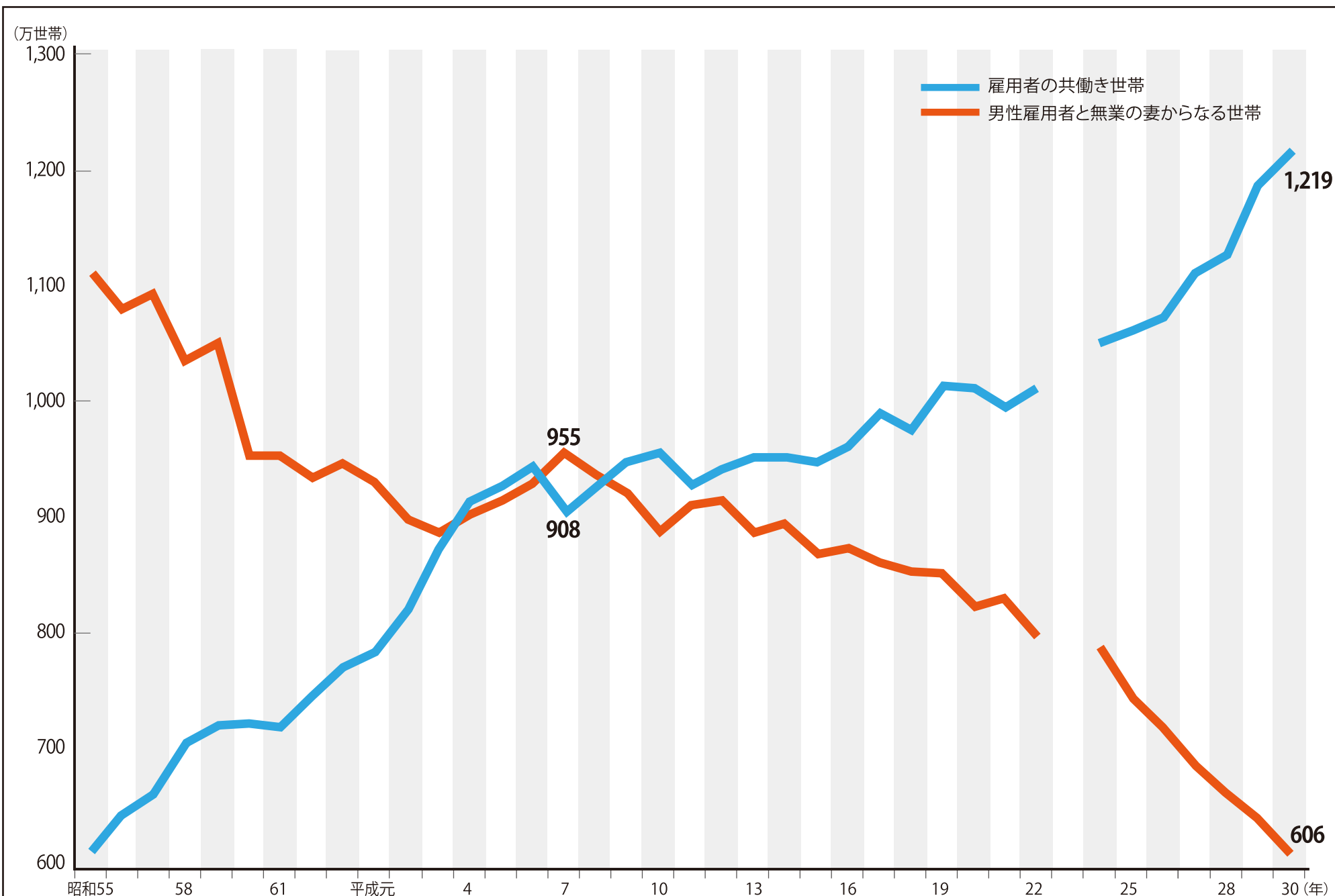
1

仕事と家庭

共働き世帯数の推移

昭和55年以降、共働き世帯は年々増加し、平成9年以降は共働き世帯数が男性雇用者と無業の妻からなる世帯数を上回っている。平成30年には共働き世帯が1,219万世帯、男性雇用者と無業の妻からなる世帯が606万世帯となっている。

その背景として、女性の社会進出に対する意識変化や、経済情勢の変化等があると考えられる。



注) 1. 昭和55年から平成13年までは総務省「労働力調査特別調査」14年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」より作成。
2. 平成22, 23年は岩手県、宮城県、及び福島県のデータがないため記載していない。